

## 第 19 回 全国大会・研究発表大会 ベストペーパー特別賞 受賞記

北陸大学 藤本雄紀 日下恭輔 田部田晋

このたびは、ベストペーパー特別賞に選んでくださり誠にありがとうございます。このようなご評価を頂き大変嬉しく思います。また、選定委員会の皆様、運営の皆様、大会にご参加くださった皆様に深く御礼申し上げます。

全国の地域鉄道は、コロナ禍が明けた現在も非常に苦しい経営状況が続いています。私達と共同研究を行っているのと鉄道も例外ではありませんでした。そのような状況下でも職員の方々は様々な工夫や涙ぐましい努力をされて、なんとか維持・向上しようと日々仕事をされています。実際、訪問してみると、豊かな自然が織りなす素晴らしい景観、温かなホスピタリティ、絶品のグルメなど、観光体験として実に素晴らしいものでした。しかしながら、こういった魅力は実際に足を運んで初めて感じられるものです。どうすればもっと多くの人に伝わるのか、その方法を見つけることが、本研究の出発点でした。

本研究は、人の記憶に残りやすい情報伝達手段として VR に着目し、観光列車を疑似体験できるシステムを試作した上で、既存メディア（動画）と印象構造を比較したものになります。結論としてはまだまだ改善の余地はあるものの、VR 技術が地域鉄道の魅力をより幅広い層に伝えるツールのひとつになり得ることが明らかになりました。

この成果を報告できたこと、そしてベストペーパー特別賞を受賞できたことは、大きな励みとなりました。システムの開発には学生さんの力も大きく影響しており、電車や風景の 3DCG オブジェクトは学生さんが作成したものです。賞を頂けたことで熱が入ったのか、現在も細部に渡るまで丁寧に作り込んでおり、年度内にはアプリストアでの公開を予定しております。是非体験頂き、のと鉄道にも足を運んで頂ければと思います。

また、質疑にもあったように、今後は現実世界との相互作用（デジタルツイン技術の活用など）を意識しており、のと鉄道にも引き続き協力頂きながら研究を進めていきます。更に、のと鉄道に限らず全国展開が可能なように、VR 体験システムの改良、オープンソース化も目指していく所存です。この取り組みが、地域鉄道の価値の再認識に繋がり、地域経済の活性化に寄与するその第一歩となればと思います。

最後になりますが、このような機会を与えてくださった皆様、そして、私たちの研究を高く評価してくださった委員会の皆様に、改めて心からの感謝を表します。これからも、情報システムを通じた社会への貢献を目指してまいります。